



元気の花 なかよしの花 やる気の花 安全の花



さすが、6年生！ 折尾東小の看板です。

毎日、おりひがっこと学校生活を送り始めて1ヵ月半になります。その中で子どもたちのよさを目にする場面が増えてきました。とてもうれしく思います。今回は、6年生のよさを紹介します。

ちよっとしりごと1

4月10日(火)入学式が終わった後です。体育館では担任の先生と保護者のみなさんがお話をしていました。1年生の子どもたちは、教室で待ちました。その間6年生がお世話をしてくれていました。トイレにつれていったり、絵本を読んだり、クイズを出したり・・・本当に一生懸命やっている姿に素敵なお6年生だな、と感心しました。



ちよっとしりごと2

5月2日(水)の放課後、6年生の女の子が3人学校にやってきました。話を聞くと、学校の近くの路上で、1年生の女の子が家への帰り道が分からなくなって泣いていたそうです。通りかかった6年生の子たちが、学校の近くまで連れてきてくれたそうです。1年生の子はその途中で「帰り道がわかった。」とかげだしたそうですが、無事に家まで帰り着いたかどうかと心配して学校にきてくれたのです。「困っている下級生を助ける」それは当たり前のことかもしれませんが、私は心がとてもあたたかくなりました。(学校から1年生の子のおうちに連絡をしたら無事に帰り着いていました。)



ちよっとしりごと3

朝の登校時のことです。通りかかった1年生の子の靴ひもがほどけていました。「ちよっとまってごらん。」と私がなおしてやると、そばにいた上級生が、小さな声で、『ありがとう』って言うんだよ。」と1年生に教えてあげていました。大切なことを伝えてくれているなあ、とうれしくなりました。

ちよっとしりごと4

5月のある日の休み時間のことです。運動場でけがをして泣いている子を6年生が職員室に連れてきてくれました。事情を説明し、後で心配そうな顔でけがをした子の上靴まで届けてくれました。思いやりのある行動が取れる6年生だな、と感心しました。



このような、行動ができる6年生を、私はすばらしい6年生だと思います。よりよい6年生の条件は、自分自身ががんばることプラス周りの人のために何をするか、できるかということだと思います。私が1ヵ月半で気が付いたことでもこれだけありますので、きっと他のところでも6年生はよい行動をとっていると思います。6年生の皆さん、ありがとうございます。あなたたちのそんな行動が、折尾東小をよりよい・より楽しい学校にしてくれます。6年生は、その学校の看板(顔)です。6年生のがんばりは、下級生や先生や保護者や地域の人みんながみえています。どうぞ、これからもよろしくお祈いします。

今回は6年生のよいところを中心に述べましたが、もちろん他の学年にも、友達やクラスメートのことを、心配したり、手を貸してあげたりする行動があります。また反対に、もめごとがあったり思いやり足りない行動をしてしまったりすることもあります。私たち子どものまわりにいる大人は、それらを価値付けしてやるのが、大切だと思います。こどもが何気なくしたことでも、「あなたがしたこととはとてもよいことなんだよ。あの人とはとてもうれしそうだったよ。」「あなたがしたことと悲しい思いをしている人がいるよ。これから考えてね。」・・・

ほめることは大切です。でも、何でもほめるのではなく、子どもがほめられてうれしいこと、がんばったことや大切なことを具体的にほめることが大切です。それには子どもをしっかり見ていることが必要です。(また、適切にしかることも同様です。)

(保護者・地域の皆様へのお願いです。子どもたちのことで、よい行いなどがありましたら、どうぞお知らせください。よりよい子どもたちの成長や学校づくりに役立てていきたいと思ひます。)

お祈い 5月21日7時20分前後に、日食が観測されます。登校時間帯ですが、登校中は交通安全と目の保護のため太陽を見ないように指導しています。登校前にご家庭で遮光板を用意して観測していただくか、学校にきてから担任の指導の下で観測するように指導しています。ご協力をよろしくお祈いします。